

活 動 報 告 書

1 団体名 ソイスポ 2019 実行委員会
2 活動内容 障がい者スポーツとさまざまな障がいについて社会に広く認知・理解してもらうために、誰もが楽しめる体験交流会、シンポジウムを開催する。障がい者と健常者の交流を促進し、相互の理解を深めて心のバリアフリーに繋げ、インクルーシブな社会の実現を目指す。
3 活動期間 2019年 4月 21日から 2019年 12月 5日まで
4 活動実施内容 9月21日（土）車いすバスケ・ツインバスケ体験交流会 別府市太陽の家体育館 10月5日（土）デフビーチバレーボール体験交流会 別府市餅ヶ浜海浜公園 10月26日（土）車いすマラソン体験交流会 別府市餅ヶ浜棧橋 12月5日（木）シンポジウム 別府市別府大学 そのほか11回の実行委員会ミーティング
5 活動の成果 三回の体験交流会に合計165名の参加があった。そのうち障がいを持つ方は73名だった。当初の目標の障がい者と健常者の交流のきっかけは作れたと思われる。シンポジウムでは大学生を中心に100名を超える方が来場した。 初めての開催で認知度が全くない中、多くの方に参加してもらえた。メディアにも取材され、大分合同新聞に三回、毎日新聞に三回、今日新聞に一回記事が掲載された。TOSやとんぼテレビも一回ずつ報道された。多くの方にソイスポの活動を知ってもらえた。
6 反省点や今後の目標 <ul style="list-style-type: none">・ スポーツ体験の時間を多く取りすぎて、参加者同士のコミュニケーションする時間が減ってしまった。・ 身体障がい者（特に車いすの方、聴覚障がいの方）の参加が大多数で、知的障がいや精神障がいを持つ方の参加がほとんどなかった。・ 餅ヶ浜ビーチを使用した際に、車いすの方がビーチに降りることができなかった。持ち運び可能な板で浜辺に行けるように配慮できるようにしたい。・ 毎年ソイスポを開催することで、より多くの方に参加してもらい、より多くの方に知ってもらい、ソイスポの理念や活動を別府に根付かせていきたい。・ 実行委員やボランティアなど障がいに関係なく、みんなで一緒にソイスポを育てていくことで、インクルーシブな社会に少しずつ近づいていきたい。